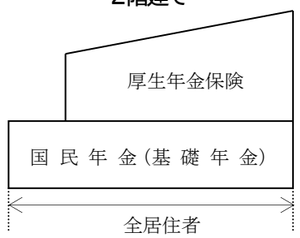
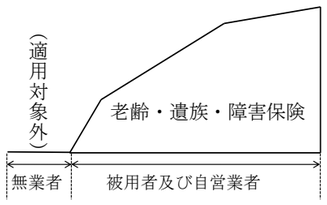
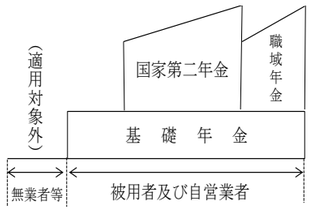
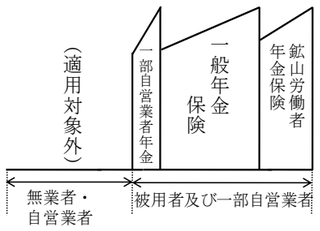
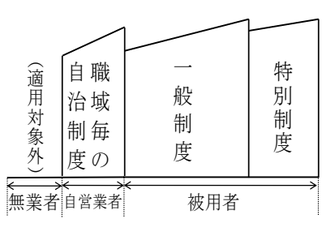
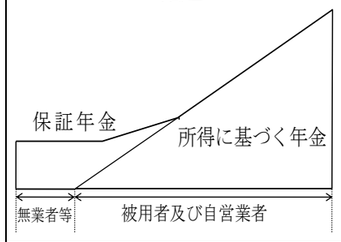
年 金 制 度 の 国 際 比 較

（平成２８年３月作成）

	日本	アメリカ	英国[注2]	ドイツ	フランス	スウェーデン
制度体系	2階建て 	1階建て 	2階建て 	1階建て 	1階建て 	1階建て 
強制加入対象者	全居住者	被用者及び自営業者	被用者及び自営業者	被用者及び一部の職業に従事する自営業者（弁護士、医師等）	被用者及び自営業者	被用者及び自営業者
保険料率[注1] (2015 年末)	（一般被用者） 厚生年金保険： １７．８２８% (2015.9～) （労使折半） ※ 国民年金第１号被保険者は定額(2015.4～、月あたり 15,590 円)	１２．４% （労使折半）	（一般被用者） ２５.８% 本 人：１２．０% 事業主：１３．８% ※ 保険料は、年金の他、雇用保険等の給付に充てるものとして徴収。	（一般被用者） １８．７% （労使折半）	（一般被用者） １７．４５% 本 人：７．１５% 事業主：１０．３０% ※ 賃金が上限額（月 3,170 ユーロ）を超えない場合。超える部分については、本人 0.30%、事業主 1.80%を拠出。	１７．２１% 本 人：７．０ % 事業主：１０．２１% ※ その他に遺族年金の保険料 1.17%が事業主にかかる（老齢年金とは別制度）。
支給開始年齢 (2015 年末)	国民年金（基礎年金）：６５歳 厚生年金保険： 男性：６１歳 女性：６０歳 ※ 男性は 2025 年度までに、女性は 2030 年度までに 65 歳に引上げ	６６歳 ※ 2027 年までに 67 歳に引上げ	男性： ６５歳 女性： ６２歳１１か月 ※ 女性について 2018 年までに 65 歳に引き上げられた後、男女ともに 2020 年までに 66 歳に引上げ ※ 2026 年から 2046 年にかけて男女ともに 66 歳から 68 歳に引上げ[注2]	６５歳４か月 ※ 2029 年までに 67 歳に引上げ	６１歳７か月 ※ 2017 年までに 62 歳に引上げ（ただし、満額処出期間を満たしていない者が 65 歳（67 歳まで引上げ予定）前に受給開始した場合は減額される。）	６１歳以降本人が選択 （ただし、保証年金の支給開始年齢は 65 歳）
年金受給のために必要とされる加入期間	２５年 （税制抜本改革法の施行時期にあわせて、25 年から 10 年に短縮される予定）	４０加入四半期 （１０年相当）	なし （2016 年 4 月に 10 年となる予定）[注2]	５年	なし	なし （保証年金については最低 3 年のスウェーデンでの居住が必要であり、満額受給は 40 年の居住が必要）
国庫負担	基礎年金給付費の２分の１	原則なし	原則なし	給付費の２７．３% (2013 年)	歳入の３６．５% (2014 年)	保証年金部分

注１　諸外国の保険料率は、一般被用者については、賃金に対する割合（ただし、スウェーデンの本人負担分は所得に対する割合）。

注２　英国：2014 年年金法の成立により、基礎年金と国家第二年金に代わる定額・一層型の公的年金（受給に必要な期間が 10 年となる予定。2016 年 4 月 6 日以降に支給開始年齢に到達する者が対象。）の創設、支給開始年齢の引上げの前倒し等が決定された。

資料出所　・Social Security Programs Throughout the World：Europe,2014 / The Americas,2013・Mutual Information System on Social Protection in the Member States of the European Union

・先進諸国の社会保障①イギリス ④ドイツ ⑤スウェーデン ⑥フランス ⑦アメリカ（東京大学出版会）・各国政府の発表資料　ほか